

■第2回委員会での主な意見と対応

質問・意見	回答・計画への反映
～計画理念・基本方針について～	
1・基本方針の安全・安心に関して、来訪者も対象となるような表現にすべき。 ・現状と課題の整理で「自然災害リスク」と記載されており、災害対応、情報提供なども考慮すべきではないか。	・別紙のとおり、基本方針（安全・安心）を整理しました。 ＜第3回委員会 資料2参照＞
2・基本方針の観光に関して、都市観光はよく使う言葉か。観光客は観光スポットだけに行っているわけではないため、都市観光や観光スポットなどは今後も使える言葉を使ってほしい。 ・観光客は、観光での価値の置き方が変わり、居住者の暮らし・出来事を体験することを求めている。	・別紙のとおり、基本方針（観光）を整理しました。 ＜第3回委員会 資料2参照＞
3・基本方針の圏域連携に関して、「道内・国内外」という表現にしたときに、札幌圏として薄まらないか留意が必要。	・別紙のとおり、基本方針（広域連携）を整理しました。 ＜第3回委員会 資料2参照＞
4・計画理念に「持続可能」を加えたが、基本方針には入れないのか。	・別紙のとおり、基本方針を整理いたしました。 ＜第3回委員会 資料2参照＞
～交通体系・交通モードの基本的考え方について～	
5・交通体系での地域特性に応じた分類は重要。	・「交通体系の基本的考え方」を検討する上で、重要な視点であると考えております。 ※交通部会においても議論
6・オリンピック・パラリンピックのことも考えると、冬期のバリアフリーも大事になる。	・「交通体系の基本的考え方」を検討する上で、重要な視点であると考えております。
～交通戦略について～	
7・交通施策等の体系化一覧のソフト施策に関して、情報提供や表示などのサインは関連付けた整理が必要。	・「交通戦略」（施策の体系化一覧）において議論したい。
8・歩道のバリアフリー化は推進していかなければならないが、歩道通行や一時停止しない自転車が多いため、自転車のこと合わせて施策を考えるべき。	・「交通戦略」（今後10年に実施する交通施策）を検討する上で、重要な視点であると考えております。
9・大倉山等の一部の観光施設には移動手段が限られるため、公共交通ネットワークを観光客も使いやすくなればよい。	・「交通戦略」（今後10年に実施する交通施策）を検討する上で、重要な視点であると考えております。 ※市民まちづくり部会においても議論
10・シェアリングソサイエティ、シェアリングエコノミーの視点で今後まとめてほしい。	・「交通戦略」（今後10年に実施する交通施策）において議論したい。
11・観光などでは、行政内の他セクションとの連携が重要。	・「交通戦略」（今後10年に実施する交通施策、推進体制）を検討する上で、重要な視点であると考えております。 ※市民まちづくり部会においても議論
12・環境では、SDGsを取り入れることで、持続可能性を深く説明できるのではないか。	・「交通戦略」（今後10年に実施する交通施策、推進体制）を検討する上で、重要な視点であると考えております。 ※市民まちづくり部会においても議論
13・CO2の指標は、昨今の次世代自動車普及状況から見ると低い。環境はバックキャストにより、目標達成のためにいつ何をするとといった表現が必要。	・「交通戦略」（評価指標）を検討する上で、重要な視点であると考えております。 ※市民まちづくり部会においても議論
14・環境負荷低減の評価指標CO2排出量に関して、考慮すべき事項に「市民意識の醸成」とあるが、環境だけではなく全体に係ること。	・「交通戦略」（推進体制）を検討する上で、重要な視点であると考えております。 ※市民まちづくり部会においても議論
15・計画理念や基本方針は、誰にとってもこういう街にしていきたいという説明になるが、誰が具体的に何をするのかの議論は必要。	・「交通戦略」（推進体制）を検討する上で、重要な視点であると考えております。 ※市民まちづくり部会においても議論